

# ふるさと通信員だより

vol.166



私が町内の身近な  
話題を紹介します♪

たかだ てつこ  
高田徹子通信員

このコーナーでは、ふるさと通信員が取材した身近な地域的话题を紹介しします。なお、町では通信員を募集しています(活動はボランティアでお願いしています)。広報活動に興味のある人は、役場広報広聴課広報係(内線216)にご連絡ください。



緑陽台南区町内会(大金慶一会長、145戸)の総会と「オレオレ詐欺防止」の講習会が緑陽台会館で開催され70人が参加しました。  
講師の帯広警察署生活安全課の坡下恒基(こうき)警部補が、年々悪質化する詐欺の口や被害状況、未然防止策や対処法など実例を挙げながら説明。平成29年度の道内の被害は約300件で、被害額は6億5千万円と年々増えています。被害者の7割が65歳以上の人だそうです。  
防止策としては、一人で判断せず誰かに相談するか、警察相談専用電話「#9110」へ連絡してほしいと呼びかけていました。

📷  
6億5千万円  
昨年の被害額



昭和小学校(大庭菜穂子校長、児童15人)の児童と昭和老人クラブ(津島勇会長、会員98人)が、協力してクリーン作戦を実施しました。  
出陣式では、津島会長が「交通事故には十分気をつけてください」と、児童会長の鳥巢花音(なすか かな)さん(6年生)が「老人会の人といっぱいお話して仲良くなってください」とそれぞれあいさつ。  
今年で12年目のクリーン作戦。子どもたちは空き缶やたばこの吸い殻を見つけ「たばこの吸い殻が多いのは、大人が捨てるからだね」などと話しながらごみ袋いっぱい拾いました。子どもたちが大人になる頃には、ごみのポイ捨てがなくなっていたらいいですね。

📷  
こんなにあったよ